

一般質問

答 本市は例年、人事院勧告に従つて給料表の改定等を行つておる。また、市独自の補助制度は考へておらず、市独自の補助制度は考へていない。

問 人事院勧告制度についての姿勢を示してほしい。
答 本市は例年、人事院勧告に従つて給料表の改定等を行つておる。また、市独自の補助制度は考へておらず、市独自の補助制度は考へていない。

問 生活保護費の削減に對応する市独自の補助制度を検討してはどうか。
答 生活保護費については、国の審議会で決定され、事務は市が法定受託事務として行つており、市独自の補助制度は考へていない。

安心して暮らせるまちづくりについて

問 人口減少対策について
答 現在も「ふるさと雇用奨励」、「工場立地による雇用奨励」、「たつの暮らし試行」、「就農総合支援」など、さまざまな就労支援事業や子ども医療費無償化、出生祝金、不妊治療や予防接種補助などを実施している。今後、特に若者世代をターゲットにした「すみよいまちたつの市」をアピールする工夫をしていきたい。

問 国民宿舎の利用拡大に向けて
答 法事や還暦祝い等の祝事において、市民が利用した場合のプランを実施できないか検討する。

問 人口減少対策について
答 現在も「ふるさと雇用奨励」、「工場立地による雇用奨励」、「たつの暮らし試行」、「就農総合支援」など、さまざまな就労支援事業や子ども医療費無償化、出生祝金、不妊治療や予防接種補助などを実施している。今後、特に若者世代をターゲットにした「すみよいまちたつの市」をアピールする工夫をしていきたい。

定等を行つており、その姿勢は変わらない。職員数削減などで職員に大きな負担もかけていることや、ラスパイレス指数も他市と比べても高くななく、給料は現状を維持していく。

問 休耕田対策について
答 本市が田畠の貸出登録業務窓口になることは、休耕田対策に有効な施策のひとつと考えるが、現在、国においても農地の集約と放棄田対策として「農地中間管理機構」を各都道府県に設立するとしているため、市の貸出登録窓口の設置については検討課題にしたい。

問 ふるさと林道について
答 「ふるさと林道大谷・福原線」は地元住民の生活道路でもある。財政的に無理のない計画に練り直すなど、事業着手に向けて計画を見直すことは出来ないのか。

問 休耕田対策について
答 市が管理する石見漁港及び兵庫県が管理する室津漁港の防潮堤天端の高さについては、それぞれ3.15mと2.8mである。国においては、南海トラフ巨大地震が起きた場合の最大津波高を2mと想定しており、両漁港の平均満潮位0.7mにプラスしてもそれぞれの防潮堤天端には及ばない。

開発は進んでいるのか。
答 これまでに3カ所めぐり宿泊プランやお花見プラン・もみじ狩りプランなどを実施しており、今年度も、1泊3食付のみじ狩りプランを実施する予定である。また、今年度は、コミュニティバスと国民宿舎の利用促進を図ることを目的に、国民宿舎共通クーポン券付きミニバス乗車券を販売する予定である。

問 教職員の体罰及び子どもの教育について
答 文部科学省による体罰の定義は、これからのお子様のためになるのか。教育には厳しさも必要であり、悪いことをすれば叱るのは当然のことであるが、体罰による指導は、指導力の未熟さの表れで、子どもの心身に深い傷を負わせるものである。体罰に頼らず、一人ひとりを大切にし、愛情と信念を持って指導することが、未来を担う子どもにとって最も重要なことであると考える。

問 防災について
答 兵庫県では、今年度に震度7強の地震に対する耐震診断を実施する予定であり、その診断結果によつては、改修・補強等の整備を計画的に進めるとの回答を得ている。

問 岩見地区、室津地区には防潮堤があるが、2mの津波に対応できるのか。
答 市が管理する石見漁港及び兵庫県が管理する室津漁港の防潮堤天端の高さについては、それぞれ3.15mと2.8mである。国においては、南海トラフ巨大地震が起きた場合の最大津波高を2mと想定しており、両漁港の平均満潮位0.7mにプラスしてもそれぞれの防潮堤天端には及ばない。

問 旧新宮町において、調査・設計された事業計画を踏襲しているが、再度、事業内容を確認する。
問 粿柄池が震度6強及び7の地震で決壊すると予想しているなら、なぜ事前に改修等の対策をうたないのであるか。
答 兵庫県では、今年度に震度7強の地震に対する耐震診断を実施する予定であり、その診断結果によつては、改修・補強等の整備を計画的に進めるとの回答を得ている。

問 ふるさと林道について
答 「ふるさと林道大谷・福原線」は地元住民の生活道路でもある。財政的に無理のない計画に練り直すなど、事業着手に向けて計画を見直すことは出来ないのか。

問 粿柄池が決壊した場合の浸水想定は2m～3m未満とある。稲柄池の決壊についても、御津地域における津波と同様に警戒すべきではないのか。

問 粿柄池の堤防が決壊した場合、下流域に多大な被害を及ぼす可能性がある大規模なため池とし

て位置付けており、警戒しているところである。
問 粿柄池が震度6強及び7の地震で決壊すると予想しているなら、なぜ事前に改修等の対策をうたないのであるか。
答 これまでに3カ所めぐり宿泊プランやお花見プラン・もみじ狩りプランなどを実施しており、今年度も、1泊3食付のみじ狩りプランを実施する予定である。また、今年度は、コミュニティバスと国民宿舎の利用促進を図ることを目的に、国民宿舎共通クーポン券付きミニバス乗車券を販売する予定である。

問 防災について
答 兵庫県では、今年度に震度7強の地震に対する耐震診断を実施する予定であり、その診断結果によつては、改修・補強等の整備を計画的に進めるとの回答を得ている。

問 旧新宮町において、調査・設計された事業計画を踏襲しているが、再度、事業内容を確認する。
問 粿柄池が震度6強及び7の地震で決壊すると予想しているなら、なぜ事前に改修等の対策をうたないのであるか。
答 兵庫県では、今年度に震度7強の地震に対する耐震診断を実施する予定であり、その診断結果によつては、改修・補強等の整備を計画的に進めるとの回答を得ている。